

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年 5月24日（木）

2 確認箇所

H4タンクエリア

3 確認項目

H4タンクエリアの汚染土壌回収作業の進捗状況

4 確認結果の概要

平成25年8月にH4タンクエリアにおいて汚染水を保管していたタンクから漏洩が発生した。その影響により周辺の土壌が汚染し、現在その土壌を回収していることから、回収作業の進捗状況及び作業員の被ばく防止対策について、作業員から聞き取りし、現場確認を行った。

（前回確認：[平成30年4月18日](#)）

- ・作業員によると、深層部の土壌回収作業は地上面から約5mまで掘削し、約1,500m³を回収したのち、GM管式サーベイメータで土壌表面を測定したところ、汚染が確認されなかったことから、本日（5月24日）をもって回収作業を一旦終了し、今後東京電力に作業完了の確認をしてもらうとのことであった。（写真1）
- ・今後、重機の搬入道路を整備し、今年8月末までに深層部を埋戻すとのことであった。
- ・作業員の被ばく防止対策としては、身体汚染防止のために作業員にタイベックの上にカップを着用させており、全面マスクの隙間をビニールテープで目張りしていた。（写真2、3）
- ・なお、これまで週に1回の頻度で回収作業中にダスト測定をしていたが、すべて検出限界値未満であったとのことであった。（写真4、5）



（写真1-1）



（写真1-2）



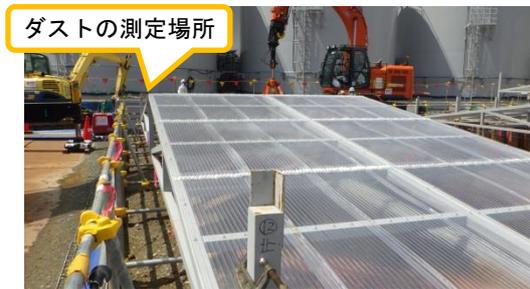
(写真 2)



(写真 3)



(写真 4)



(写真 5)

※最も飛散しやすい場所で測定していたとのこと。

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて前日と比べ有意な変動は確認されなかった。